



神戸市立工業高等専門学校

数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)【都市工学科】取組概要

▶ プログラムの目的

本教育プログラムは、急速に変化する情報社会に対応するための数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を修得するとともに、実践的な能力の習得、および、自らの専門分野に応用できる高度情報人材の養成を目的とする。

▶ 身につけられる能力

本教育プログラム修了生は、リテラシーレベルの数理データサイエンスAIの基礎的素養に加え、グループワークや実習を通じて得られる実践的な技術を活用し、自らの専門分野に関わる地域社会の課題発見・解決能力、および、フィードバック能力を修得できる。

▶ 科目構成と修了要件

本教育プログラムを構成する以下の所定科目を全て修得すること。

対象科目	開講学年	単位数	区分
数学Ⅰ（１年）	1年	4	データ表現とアルゴリズム
数学Ⅰ（２年）	2年	4	データ表現とアルゴリズム
数学Ⅰ（３年）	3年	4	データ表現とアルゴリズム
数学Ⅱ（１年）	1年	4	データ表現とアルゴリズム
数学Ⅱ（２年）	2年	2	データ表現とアルゴリズム
確率・統計	4年	1	データ表現とアルゴリズム
情報基礎	1年	2	データ表現とアルゴリズム AI・データサイエンス基礎 AI・データサイエンス実践
都市工学実験実習	4年	2	データ表現とアルゴリズム
都市工学実験実習	5年	3	AI・データサイエンス基礎 AI・データサイエンス実践
修得単位合計		26	

※ 対象科目は全て必修科目で構成されています。

▶ 実施体制

本教育プログラムは、下記のPDCAサイクルに基づいて継続的な改善・進化を図っている。また、PDCAの外側に神戸市立工業高等専門学校自己評価委員会を置くことで本教育プログラム全体の点検・評価を行い、本教育プログラムの実施が問題なく行われているか確認する。

